

# 苅田町臨空産業公園

## 基本構想

令和6年3月



苅田町

福岡県京都郡  
Kanda Town

# 目次

## 序章 基本構想の策定にあたって

1. 基本構想策定の背景・目的 ..... 2

## 第1章 現況概要

1. 臨空産業公園（仮称）の位置・概況 ..... 4
2. 地形および土地利用条件 ..... 5

## 第2章 基本構想の方向性

1. 目指したい公園像 ..... 6
2. ターゲットの設定 ..... 7

## 第3章 開発コンセプトと整備方針

1. 開発コンセプトと整備方針 ..... 8
2. ゾーニング ..... 9
3. 開発イメージ ..... 10

## 第4章 町民（学生）ワークショップ

1. ワークショップ概要 ..... 12
2. ワークショップ開催報告 ..... 13

## 第5章 段階整備の考え方

1. 段階整備計画概要 ..... 17
2. 段階整備イメージ ..... 18

## 第6章 今後の計画スケジュール

1. 今後の計画スケジュール ..... 21
2. 今後の検討事項 ..... 22

# 序 章 基本構想の策定にあたって

## 1. 基本構想策定の背景・目的

苧田町のまちづくりの一環として、町の新たな観光スポットの開発を行うため、臨空産業公園（仮称）を空港の見える公園として整備を行う。

憩いの空間を演出するなど、町の映えスポットとしてPRするとともにイベントを開催するなど町の知名度向上を図り、誘客の促進に取り組む。

### ■ 苧田町まちづくりの基本理念

第5次苧田町総合計画の中で3つの基本理念を定めている。

1. 産業都市としての発展を基軸としながらも、先人から受け継いだ貴重な歴史、伝統・文化、自然などを継承し、誰もが安心して、心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。
2. 多様な課題に対応するため、みんなで力を合わせて、次世代にも継承していける持続可能なまちづくりを進めます。
3. 「苧田らしさ」を創造し、苧田町に関わる様々な主体にとって、魅力があり住みやすく感じられるまちづくりを進めます。

### ■ 苧田町の政策と施策（第5次苧田町総合計画より）

<b>1.未来を拓く人づくり</b>	<b>4.安全で暮らしやすい環境があるまちづくり</b>
(1) 学校教育の充実	(1) 暮らしの安全の確保
(2) 生涯学習の充実と文化の振興	(2) 自然環境・生活環境の保全
(3) 人権尊重・男女共同参画社会の形成	(3) 循環型社会の形成
<b>2.活力ある産業のまちづくり</b>	(4) 地域活動・町民活動の推進
(1) 農林水産業の振興	(5) 防災・減災対策の推進
(2) 工業の振興	(6) 消防・救急・救助対策の推進
(3) 商業・観光の振興	<b>5.快適な都市機能があるまちづくり</b>
<b>3.だれもが元気で健やかに暮らせるまちづくり</b>	(1) 道路・橋梁の整備と保全
(1) 子ども・子育て支援の充実	(2) 持続可能な市街地の形成
(2) 高齢者福祉の充実	(3) 水道水の安定供給と汚水処理の推進
(3) 障がい福祉の充実	<b>6.持続可能な町づくり</b>
(4) 地域福祉の充実とセーフティネットの推進	(1) 持続可能な行政運営の推進
(5) 健康づくりの推進	(2) 健全な財政運営の推進
	(3) 町民から信頼される職員と職場づくり

# 序 章 基本構想の策定にあたって

## ■ 新たな観光スポットの開発

第5次苅田町総合計画による町民意識調査において、「観光の振興」の政策・施策満足度スコアは低いものとなっている。このことから町民意識の満足度向上のため観光地の磨き上げや、新しい観光スポットの開発が不可欠である。

今回、当公園を空港の見える公園として整備を行うことで、憩いの空間を演出し、新しい観光スポットを作り、更なる誘客に努める。

## ■ 公園緑地整備に関する方針（苅田町都市計画マスタープラン2020より）

新たな公園・緑地の整備として、日常の憩いやレクリエーションの場であり、災害時などの避難場所となる公園・緑地の整備を図る。

1. 子どもの多様な遊びに対応する場、高齢者の健康増進に寄与する場、町民の交流・憩いの場、災害時の避難の場としての都市計画公園の整備を図る。
2. 市街地の環境保全を図るために、都市計画緑地の整備に取り組むとともに、周辺の土地利用状況などを勘案し、必要に応じた見直しを行う。
3. 既存の公園・緑地は、地域の住民が身近に親しめる場として適切な維持・管理を図る。
4. 大熊公園や向山公園などの比較的規模の大きな公園は、既存の公園機能、防災機能などの確保を図っていくとともに、民間活力の導入や、観光面での活用など新たな取組みについて検討する。
5. 町民・企業などの協働による公園・緑地の維持・管理の充実を図る。

## ■ 観光振興の方向性（苅田町観光振興計画より）

人々のライフスタイルが多様化する中で、従来の通過型・団体型のものから交流型・個人型のもの、訪れる地域の自然・生活文化・人とのふれあいを求めるものへと変化している。

この時代の変化に対応して、「苅田らしさ」の創造（魅力的なライフスタイル・ワークスタイルの創造と連動したまちづくり）を目指し、苅田の自然・生活文化・人とふれあうことのできる観光に取り組む必要がある。

「おもてなしの心」で観光客を誘致していくため、観光資源や地域の素材を発掘し、磨き上げしていくことが重要となる。

# 第1章 現況概要

## 1. 臨空産業公園（仮称）の位置・概況

### ■ 位置・概況

当公園は、苅田町の北部に位置し、北九州市に隣接した場所にあり、その広さは約4,500㎡である。

所在地	福岡県京都郡苅田町大字苅田3787-1
所有者	苅田町
面積	約4,500㎡
地区計画	苅田町臨空産業団地地区計画
地区整備計画	工業専用地域（用途制限あり）

### ■ 基礎情報

当公園区域は東側に周防灘を挟み、北九州空港を望むことができる。南側には県道新北九州空港線を挟み松山城跡があり松山には多くの登山客が訪れる。西側は町道に面しており、北側は北九州市と隣接している。海との境界には防波堤が存在し、周囲には高い建造物はなく、見晴らしは良い。目下に曽根干潟があり、生態系は豊かである。

### ■ アクセシ性

鉄道の最寄り駅は、JR苅田駅および朽網駅である。苅田駅からは直線距離で約3kmのところに位置し、市街地からは徒歩で約50～90分、自転車で約15分～30分の移動が必要で、車以外での移動は時間を要する。最寄りのバス停は西鉄バスのブルーポートホテル苅田北九州空港バス停で徒歩約12分である。

### ■ 周辺環境から見た役割

当公園区域は苅田町の北部湾岸部に位置し、工業専用地域であることから周辺には多くの工場が存在する。北九州空港へ続く福岡県道245号線に隣接しており、観光スポットでもある新北九州空港連絡橋へアクセスしやすい好立地であるため、市街地と北九州空港を結びつける役割を持たせることができる。また、北九州空港までのサイクリングや、ウォーキングを楽しむ人達の導線にあたるため、休憩地点として立ち寄り、癒しの空間を満喫していただき、SNS等で拡散されることで、誘客を図る効果が期待できる。一方で、市街地からの距離もあり地域住民が頻繁に訪れるような場所ではないため、臨海や新北九州空港連絡橋の存在を最大限活用し、新たに人を呼び込む計画が必要となる。

## 2. 地形および土地利用条件

### ■ 地形及び現状

当公園区域は、平成20年に造成された南北に延びる土地で、平野となっているが、一部盛土されている部分も存在し、年3回程度の草刈を実施するなど維持管理を行っている。

また、現在、バスケットコート（3 on 3コート約285㎡）が設置されており、町内外の方が利用している。

### ■ 土地利用条件

#### ① 都市計画法

当公園区域は、すべて工業専用地域に位置しているため、建築物及び工作物の設置に関しては建築基準法第48条による制限があり、建築してはならない建築物が定められている。

#### ② 苅田臨空産業団地地区計画

当公園区域は苅田臨空産業団地地区計画が定められ、工業専用地区、工業専用地域に該当する。用途の制限として、建築基準法第48条に規制されている用途の建築物以外にも、建築してはならない建築物が設定されている。

また、形態・意匠の制限、かき又はさくの構造の制限についても設定されている。

# 第2章 基本構想の方向性

## 1. 目指したい公園像

苅田町の公園整備の背景や目的とまちの持つ特徴に、公園に求められる基本的な機能を加味して、基本構想の方向性として目指したい公園像を定めた。

### 基本構想の方向性のアプローチ

#### 公園整備の背景とまちの特性

##### ● 公園整備の背景

町民意識において、観光振興に関する満足度はかなり低く、観光地の磨き上げや新しい観光スポットの開発が不可欠である。まちづくりの一環として公園を整備することで、まちの映えスポットとしてPRし、まちの知名度向上を図り、誘客の促進につなげたい。

##### ● 公園の特性

- 北九州空港及び観光スポットである新北九州空港連絡橋に近接
- 見晴らしが良く、朝日や夕日を望むことができる
- 海沿いならではの心地よさを感じることができる
- 市街地から離れているため、騒音への懸念は少ない

#### 公園に求められる基本機能

##### ● 公園に求められる機能

安心・安全な公園	・子どもたちが安心して遊べる公園 ・死角や暗がりのない公園
人にやさしい公園	・ユニバーサルデザインへの対応 ・障がい者、高齢者も利用しやすい公園
きれいで使いやすい公園	・きれいで使いやすいトイレ ・充実したベンチや休憩施設
災害時に利用できる公園	・災害時の避難所となる公園 ・防災機能を持った施設のある公園
住民が参加できる公園	・地域の行事に利用できる公園
自然を感じられる公園	・豊かな自然に包まれた公園 ・鳥など生き物が生息する公園

参照 | 財団法人都市緑化技術開発機構 | 身近な公園の公園チェックシート101

##### ● 公園の在り方のトレンド

- 心豊かな生活を支えるサードプレイスとなる公園
- グリーンインフラとなる公園
- 人と人のリアルな交流を生み出す場となる公園
- 社会課題解決に向けた活動実践の場となる公園

まちの資産として利活用  
= 地域価値・愛着・誇り等向上

画一からの脱却  
= 公園の多様性を認め、個性を活かす

多様なステークホルダーの包摂  
= 共に創り共に育てる

参照 | 国土交通省 | 都市公園新時代～公園が活きる、人がつながる、まちが変わる～

### 目指したい公園像

### 苅田町の特性を活かした、苅田町にしかない(= ONLY ONE) フォトジェニックで持続可能な公園

#### 目指す導入の効果

- 観光誘客による飲食店やその他観光スポットへの送客等の経済的効果
- 情報発信力のある方の誘客による、苅田町の認知度や魅力の向上 (SNS拡散)
- 苅田町に少ないエンタメ感 (アート・スポーツ含め) の町民の満足度向上
- 誇れるスポットの造成によりシビックプライドの向上 (話題化)
- 新しい憩いの場・交流の場・防災の場としての活用

## 第2章 基本構想の方向性

### 2. ターゲットの設定

公園を訪れてくれる可能性のある人々から、どういう人たちをターゲットに設定するかを検討し、地域内外のみなさまの誘客を図れる整備計画に反映させる。

#### ■ 本公園を訪れてくれる可能性のある人々

情報感度が高く、多少不便でも行動の目的となる“何らかの楽しみ”を求めている方



観光客

- 苧田町周辺の都市に在住の方
- 情報感度が高く、新しいものに興味がある方
- 多少アクセスが悪くても行動できる旅モチベーションが高い方
- 海沿いのロケーションが好きな方
- SNS発信の新しいもの・コトを探している方



住民

- 苧田町に多くないエンタメ要素を楽しみたい方
- アートやスポーツといった娯楽を楽しみたい方
- 健康に気を使っている方
- 海沿いで子どもや友達とゆっくり過ごしたい方

#### ターゲットの設定

##### メインターゲット

##### 地域外からのマイクロツーリズムやサイクルツーリズム層

学生  
女子旅  
インフルエンサー  
カップル  
夫婦



遠出してでも絶景を見たい！

SNS映えはマスト！

友達と楽しめる場所が好き！

ここにしかない！が好き！

必要な機能

- ・ フォトスポット
- ・ 駐車場
- ・ 飲食店
- ・ ベンチ・休憩所
- ・ 自動販売機
- ・ 清潔なトイレ

サイクリスト  
ランナーなど



休憩がてら楽しめる場所が欲しい！

サイクルラック設置はマスト！

いろんな街を周遊したい！

風光明媚な場所を走りたい！

必要な機能

- ・ サイクルラック
- ・ 飲食店
- ・ ベンチ・休憩所
- ・ 水道
- ・ 自動販売機
- ・ 清潔なトイレ

##### サブターゲット

##### 地域内の学生をはじめとする若年層、ファミリー層、高齢者層

地元の  
高校生や大学生  
など若い世代



苧田町内に楽しい場所が欲しい！

SNS映えはマスト！

ストリートスポーツがしたい！

青春できる場所が欲しい！

必要な機能

- ・ エモイ空間
- ・ フォトスポット
- ・ スポーツ場の整備
- ・ ベンチ・休憩所
- ・ 清潔なトイレ

地元の  
ファミリーや  
高齢者層



子どもが安全に過ごせる場が必要！

親も快適に過ごせる場が欲しい！

地域内には無いエンタメ感が欲しい！

健康づくりができる場が欲しい！

必要な機能

- ・ 見晴らし良い広場
- ・ 快適な日陰
- ・ ベンチ・休憩所
- ・ 安全な遊具
- ・ 自動販売機
- ・ 清潔なトイレ

### 1. 開発コンセプトと整備方針



※画像はイメージです。（写真提供 | 荻田町）

#### 開発コンセプト

荻田町にしかないフォトジェニックな公園

## 空港と海をモチーフにした公園

空港に近接する公園の名の通り、空港と公園に面する海をモチーフに、誰もが利用できる公園としての基本的な機能を持ち合わせながらも、訪れた方が楽しむことのできるフォトスポットや憩いの場を配した公園とする。

#### 整備方針

観光客の誘客だけでなく、憩いのスペースや楽しさのあるフォトスポットを取り入れることで、地元の方へも新しい楽しみを提供。海を臨む心地よい空気を感じながら、多様な過ごし方ができ、話題になるような設計とする。

1. 荻田町の特徴と強みをいかし、陸海空の結節拠点にふさわしい象徴へ
2. 臨海・空港といった、他施設と異なるポジティブな特性を活かした設計に
3. 公園に行くこと自体が目的化され、SNS映えする楽しさあるフォトスポットに

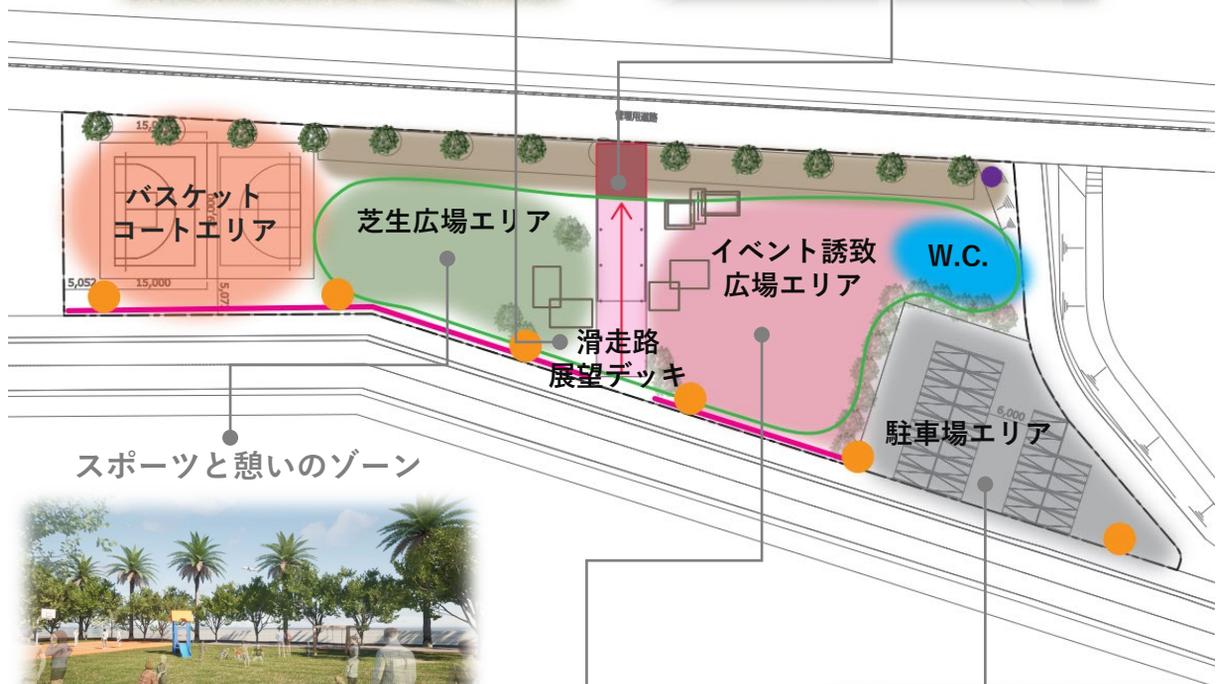
# 第3章 開発コンセプトと整備方針

## 2. ゾーニング

苅田町ならではのフォトジェニックなゾーニングとするため、象徴的な滑走路展望デッキを公園中央付近に設置し、話題性創出の核とする。

滑走路展望デッキを挟んで、左側は、既存のバスケットコートエリアも活かしたスポーツと憩いのゾーン、右側には、イベントなどを誘致できる賑わいゾーンを設け、駐車場エリアも新たに整備する。

### 滑走路展望デッキゾーン



### スポーツと憩いのゾーン



### 賑わいゾーン



## 3. 開発イメージ

### ■ 滑走路を模した展望デッキのイメージ



滑走路を模したデッキにより  
フォトジェニックな空間を演出。  
つつい歩いてみたくなるよう  
な本物の滑走路に近いデザイ  
ンを施す。

海に向かってスロープ形状と  
なっており、海に近づくにつれ  
景色が広がる。



滑走路の先には展望スペースが  
あり、海や周辺の景色を見渡す  
ことができる絶景撮影スポット  
として設計する。

### ■ その他エリアのイメージ



広場は誰もが安全に快適に過ごすことのできる空間にし、ピクニックなど憩いのスペースとして全ての人に利用してもらえらるような場を計画する。



キッチンカー等を誘致したイベントも敷地内のできるように、多くの方が集うことのできるスペースを計画する。



観光で訪れる方や地元の方に利用してもらいやすい公園とするために、専用の駐車場を整備する。



酷暑対策として、ベンチは屋根付きの東屋の設置を検討する。また、展望デッキ下や周辺の植栽など、日影のできる場所を多く作ることも検討する。



夜間の安全性を確保し、安心して公園を利用できるように外灯を設置する。



多くの利用者が快適に公園を活用できるようにトイレを設置する。

## 第4章 町民（学生）ワークショップ

### 1. ワークショップ開催概要

基本構想を町民の意見を取り入れて策定していくために、特に公園利用を促したい若い世代を対象に、西日本工業大学の学生の協力のもと全2回のワークショップを開催した。ワークショップに参加頂いた方には、臨空産業公園がどのような公園になれば多くの方が利用してくれるか、過ごしやすいか等を利用者視点に立って考えてもらい、新しい公園に必要な機能や誘客方法などについてディスカッションを行った。

#### ■ 第1回ワークショップ開催概要と意見等

開催日時	令和6年1月30日（火）13:00～15:00
開催場所	西日本工業大学 おばせキャンパス
開催内容	<p>【テーマ】 苅田町のまちづくりと公園整備を考えよう！</p> <ul style="list-style-type: none"><li>•公園基本構想の説明</li><li>•現時点での構想イメージの共有</li><li>•ゾーニングについて現状把握と検討</li><li>•グループワーク</li><li>•グループ発表</li></ul>
意見等	詳細はワークショップ報告書参照

#### ■ 第2回ワークショップ開催概要と意見等

開催日時	令和6年2月20日（火）13:00～15:00
開催場所	西日本工業大学 おばせキャンパス
開催内容	<p>【テーマ】 公園の魅力を広めるためのアイデアを考えよう！</p> <ul style="list-style-type: none"><li>•第1回WSの振り返り</li><li>•グループワーク<ul style="list-style-type: none"><li>↳公園誘客のきっかけづくり</li><li>↳公園のキャッチフレーズ</li></ul></li><li>•グループ発表</li><li>•総括</li></ul>
意見等	詳細はワークショップ報告書参照

# REPORT 苅田町 臨空産業公園 基本構想策定事業

苅田町臨空産業公園は、観光誘客のできる新しい公園として整備します。

令和5年度は、全2回のワークショップを開催し、町の皆さんと一緒にどのような公園をつくるか検討し、とりまとめた「基本構想」を策定します。ワークショップに参加頂いた方には、臨空産業公園がどのような公園になれば多くの方が利用してくれるか・過ごしやすいか等を利用者視点にたって考えてもらい、新しい公園に必要な機能や誘客方法などについて一緒にディスカッションを行います。

対象地と今後の予定	
場所	苅田町大字苅田3787-1の一部
面積	約4,500㎡
予定	令和5年度 基本構想 令和6年度 基本計画・基本設計・実施設計 令和7年度～整備工事

## 第1回ワークショップを開催しました！

日時 令和6年1月30日(火) 場所 西日本工業大学

話し合いを行った内容

### 苅田町のまちづくりと公園整備を考えよう！

- ①自分がこれまで見てきた、利用してきた公園を考察し、利用者視点でその公園の良さの要因を把握する。
- ②公園を作る立場の視点で、公園づくりにおいて大切だと思うポイントを考えてみる。

### ●グループワークで出た意見やアイデアをカテゴリ分けしたもの

#### 理想の機能について

- ・インスタ映えする展望台がほしい
- ・海沿いカフェやBBQ施設がほしい
- ・夜に花火やBBQができる公園がほしい
- ・全国チェーンのカフェが公園内にほしい
- ・海鮮などが食べれるBBQ場がほしい
- ・潮風を感じる涼める場所がほしい

#### 安全について

- ・街灯などの照明は太陽光発電を活用しては？
- ・見晴らしは大切
- ・隠れられるような場所が多いのはあまり良くない
- ・日暮れ後は足元が暗くならないように光って見やすく、おしゃれに照らされるとよい

#### 遊びや趣味について

- ・珍しいブランコや面白い遊具が充実していると良い
- ・噴水など水で遊ぶことができると良い
- ・散歩していて楽しく感じられる雰囲気
- ・外周をウォーキングやランニングできるつくり
- ・色鬼ごっこができるようなカラフルな色を用いた公園
- ・苅田町なので空港にちなんだものがある公園は良い

#### 憩いの場について

- ・珈琲など休憩の場として飲めると良い
- ・椅子やテーブルが充実していると嬉しい
- ・食に関する施設があってほしい

#### アクセスについて

- ・広い駐車場があったほうがよい
- ・無料の駐車場があると行く気になる
- ・町の中心部から離れたところにはあるが、付近を通る機会はある
- ・北九州空港連絡橋の近くなので行く機会はある

#### ペットについて

- ・ペットと一緒に遊べる公園がよい
- ・動物と触れ合える公園は楽しそう

#### 環境について

- ・産業の街なので、航空だけでなく自動車のオブジェもあっていいかも
- ・綺麗な芝生でのんびり休める公園がいい
- ・人工芝ではなく天然芝だとうれしい
- ・桜が綺麗な公園は行きたくなる
- ・地域の特産物をオブジェにしたりなども面白い
- ・他の公園との違いや、映えスポットがほしい
- ・冬は足湯や夏はエアコンの効いている場所があってもいいかも

#### その他

- ・地域経済の活性化につながる仕組みはできないか
- ・ココでしか買えないものやお土産などもあるといい
- ・公園名は難しい名前ではなく呼びやすい名前がいい

#### 好きな公園の理由

- ・「汐風公園（小倉）」桜がきれい、海から近くて気持ちいい。噴水があるのも特徴的。
- ・「蜂ヶ峰総合公園（和木町）」恐竜のオブジェや花園のようなものがある。
- ・「愛宕スポーツコンプレックス（岩国市）」BBQができる、サッカー・バスケ・ランニング等のスポーツもできる。子供用の大きな遊具もある。
- ・「ウェルネスパーク」大きな遊具があり楽しい。
- ・「大熊公園（苅田町）」運動ができる場があり、よく利用する。
- ・「勝山公園」遊具がいっぱいあり、ピクニックもできる
- ・「浜山公園」広くて走りやすい公園。

#### 衛生について

- ・ゴミのポイ捨て禁止やリサイクルの意識は大切
- ・ゴミ箱を設置してほしい
- ・きれいで清潔感のあるトイレをつくってほしい

### まとめ

SNS映えするスポットや苅田町にちなんだ楽しさのある多様な楽しみ方ができる公園。清潔さがあり、ちょっとした運動や休憩等の憩いのスペースとして若い世代から全世代まで幅広い利用ができる公園。

# 第1回ワークショップの様子

西日本工業大学キャンパスで学生たちが苅田町の新しい公園づくりについて議論を行いました



公園づくりの背景や計画について概要を説明



土木関連を専攻をしている大学生たちが参加



自分の考えをチームに共有し、それをもとに議論



ファシリテーターも混ざって意見交換を行い、活発にアイデアを出し合います



公園が遊びやスポーツ、憩いの場として必要な場であることを実感中



自分が好きな公園となぜその公園が好きなかの要因をたくさん出してくれました



ワークショップ参加が初めての学生もしっかりと自分の考えをまとめ、新しい公園をイメージしていました



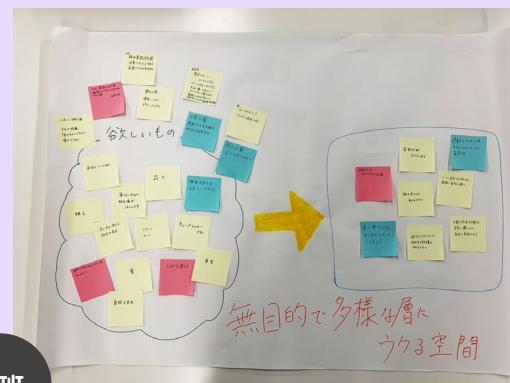
お互いのグループの意見にも興味を持って議論が進みます



付箋紙に自由に書かれたたくさんのアイデアや意見を集約し、分類分けを行いながらまとめていきました



付箋紙に自由に書かれた「公園に欲しい要素」をまとめ、1つの結論に導いていました



公園に必要な要素に「遊び」「環境面の配慮」「衛生や安全性の確保」などの意見が多く出ていました



1つの目的ではなく多目的で多様な世代にウケる(楽しめる)公園像を発表しました



A班

B班

A班

B班

# REPORT 苅田町 臨空産業公園 基本構想策定事業

苅田町臨空産業公園は、観光誘客のできる新しい公園として整備します。

令和5年度は、全2回のワークショップを開催し、町の皆さんと一緒にどのような公園をつくるか検討し、とりまとめた「基本構想」を策定します。  
ワークショップに参加頂いた方には、臨空産業公園がどのような公園になれば多くの方が利用してくれるか・過ごしやすいか等を利用者視点にたって考えてもらい、新しい公園に必要な機能や誘客方法などについて一緒にディスカッションを行います。

対象地と今後の予定	
場 所	苅田町大字苅田3787-1の一部
面 積	約4,500㎡
予 定	令和5年度 基本構想 令和6年度 基本計画・基本設計・実施設計 令和7年度～整備工事

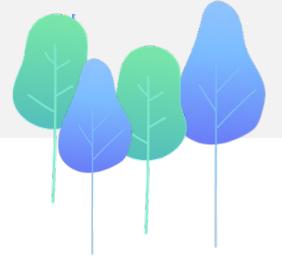
## 第2回ワークショップを開催しました！

日時 令和6年2月20日（火） 場所 西日本工業大学

話し合いを行った内容

苅田町のまちづくりと公園整備を考えよう！

- ①みんなに愛される公園にふさわしい公園の愛称を考えてみよう。
- ②利用者像を想像して、公園に訪れるきっかけをどうやって作っていくか考えてみよう



### ●公園の愛称について出た意見やアイデア

- ・ニコニコ公園（誰もが笑顔になれる）
- ・シャイニングスター公園（星が見える公園）
- ・人と海、人と空を繋ぐ公園（海や空との境目が無いので）
- ・空港のそばにある公園（そのまま）
- ・やすらぎ公園（人々が安らげるように）
- ・ミライ公園（未来に羽ばたくイメージ）
- ・滑走路公園（園内に滑走路があるので）
- ・九州の海と空を独り占め公園（空と海が印象的なため）
- ・KANDA AIR PORT 公園（北九州空港ではなく苅田の空港の意）
- ・TAKE OFF PARK（斜め上に飛び立っていく離陸イメージ）
- ・空の公園（空に向かっていく公園）
- ・鳥人間公園（人間が鳥になって飛び立つフォトスポット）
- ・鳥になれる公園（人間が鳥になって飛び立つフォトスポット）
- ・RUNWAY PARK（滑走路を英語で）
- ・羽ばたき公園（ここ苅田から羽ばたいてほしい）
- ・巣立ち公園（ここから多くの人に人が巣立って行ってほしい）
- ・エネルギー公園（活気あるイメージ）
- ・クリーン公園（エコときれいな公園を目指して）
- ・海ちか公園（海が近いので）
- ・夢みらい公園（未来に希望を持ちたい）
- ・ものづくり公園（工場がたくさんあるので）
- ・スター公園（地元航空会社にちなみ）
- ・AIR PORT公園（空港が近く滑走路があるので）
- ・工業公園（工業が盛んな街なので）
- ・そらうみ公園（空も海も近いので）
- ・KKJ公園（北九州空港のレターコード）
- ・KANDA 495（SEA・空・港）
- ・KSA（KANDA SEA AIRPORT）

### ●公園に訪れるきっかけづくりについて考えた意見やアイデア

ターゲット層 ▶	観光客	若年層	地元の住民
<b>特性</b> (どのような人?)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苅田町を観光目的での来町は少ない</li> <li>・仕事での来町は多い</li> <li>・空港利用者が多い</li> <li>・苅田町のことは詳しくは知らない</li> <li>・写真映えするところがあれば写真目的に来る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の市や町に出て遊ぶ</li> <li>・放課後に遊ぶ場所が欲しい</li> <li>・運動して体を動かしたい</li> <li>・テレビや新聞をあまり見ない</li> <li>・WEB上でほとんどの情報を取る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町には子どもの数が少ない</li> <li>・工場で働く人が多い</li> <li>・外国人が多い</li> <li>・夜間に働く労働者も多い</li> <li>・新しい居場所を作りたい人もいない</li> </ul>
<b>利用シーン</b> (どのように公園を使う?)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市からの経由地として来町                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分方面から北九州方面へ</li> <li>・北九州方面から大分方面へ</li> <li>・空港から各地へ</li> </ul> </li> <li>・仕事で来町し、空き時間に観光</li> <li>・空港利用の空き時間で町内観光</li> <li>・写真映えするところがあればSNS用に写真や動画を撮る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケやランニングなど体を動かす</li> <li>・みんなでおしゃべり</li> <li>・昼間に友達とピクニック</li> <li>・映える場所としてスマホで写真を撮る</li> <li>・インスタやTicTocの撮影場所として</li> <li>・星や夜景を見に行く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働の隙間の休憩場所として</li> <li>・お弁当持参でランチ利用</li> <li>・仕事終わりの休憩場として</li> <li>・年配の人の散歩</li> <li>・フリマやバザー利用</li> <li>・ペットと散歩</li> <li>・新しい知り合いを増やす（散歩仲間など）</li> </ul>
<b>施策案</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港にポスター掲示</li> <li>・旅行雑誌での告知</li> <li>・旅行サイトでの告知</li> <li>・インフルエンサーの活用</li> <li>・TicTocの活用</li> <li>・音楽ジャケットなどの撮影会場として</li> <li>・土日にイベント開催（コスプレ、フリマ、ナイトシアターなど）</li> <li>・公式アカウントでイベントの告知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で公園のPR活動</li> <li>・インフルエンサーの活用</li> <li>・TicTocの活用</li> <li>・インスタのストーリー活用</li> <li>・位置情報のタグ付けでPR</li> <li>・音楽ジャケットなどの撮影会場として</li> <li>・エリア限定のYouTube広告</li> <li>・学校のCM撮影会場として</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア限定のYouTube広告</li> <li>・地場の新聞やテレビでの報道</li> <li>・苅田町の広報誌や掲示板での告知</li> <li>・学校や企業内での告知</li> <li>・地域の回覧板</li> <li>・駅にポスターやチラシを設置</li> <li>・小学校での配布物に特集を組む</li> </ul>

### まとめ

訪れる可能性のある人々は、情報感度が高く、多少不便でも行動の目的となる“なんらかの楽しみ”を求めている方になりそう。特徴ある愛称を作り、SNS上で情報拡散力のあるターゲット層の誘客をきっかけに、公園に行くこと自体が目的化され、SNS映えするスポットになることを目指したい。あわせて、地域に広めるには駅や学校など身近な町の情報ツールの活用も欠かせない。

# 第2回ワークショップの様子

西日本工業大学キャンパスで学生たちが公園誘客のきっかけづくりについて議論を行いました



第1回ワークショップの振り返りを実施



行ってみたくなる公園の愛称について考えました



ちゃんと考えると意外と難しい愛称付けに苦戦



誰がどのように公園を利用するのか、どのように伝えたら公園に来てくれるのか、を議論しました



どんな方が利用してくれるのかを想像しながら意見を出し合います



情報を届けるにはどのような手段があるのか、どのように伝えたらよいのかを考えます



似た意見はグルーピングし、付箋を上手に使って考えをまとめていきました



なかなか難しい問いに対してもしっかりと向き合い話し合いが続きます



最後までしっかりと参加者同士で議論を重ね、未来の公園について考えをまとめていくことができました



他のチームの報告もしっかりと受け止め、様々な考えやアプローチがあることを理解しました



若い人の発信力が公園へ来てもらう大きなチカラになりそうだというアイデアを発表しました



B班

SNSや荻田町のメディアを活用したアイデアをとりまとめました



A班

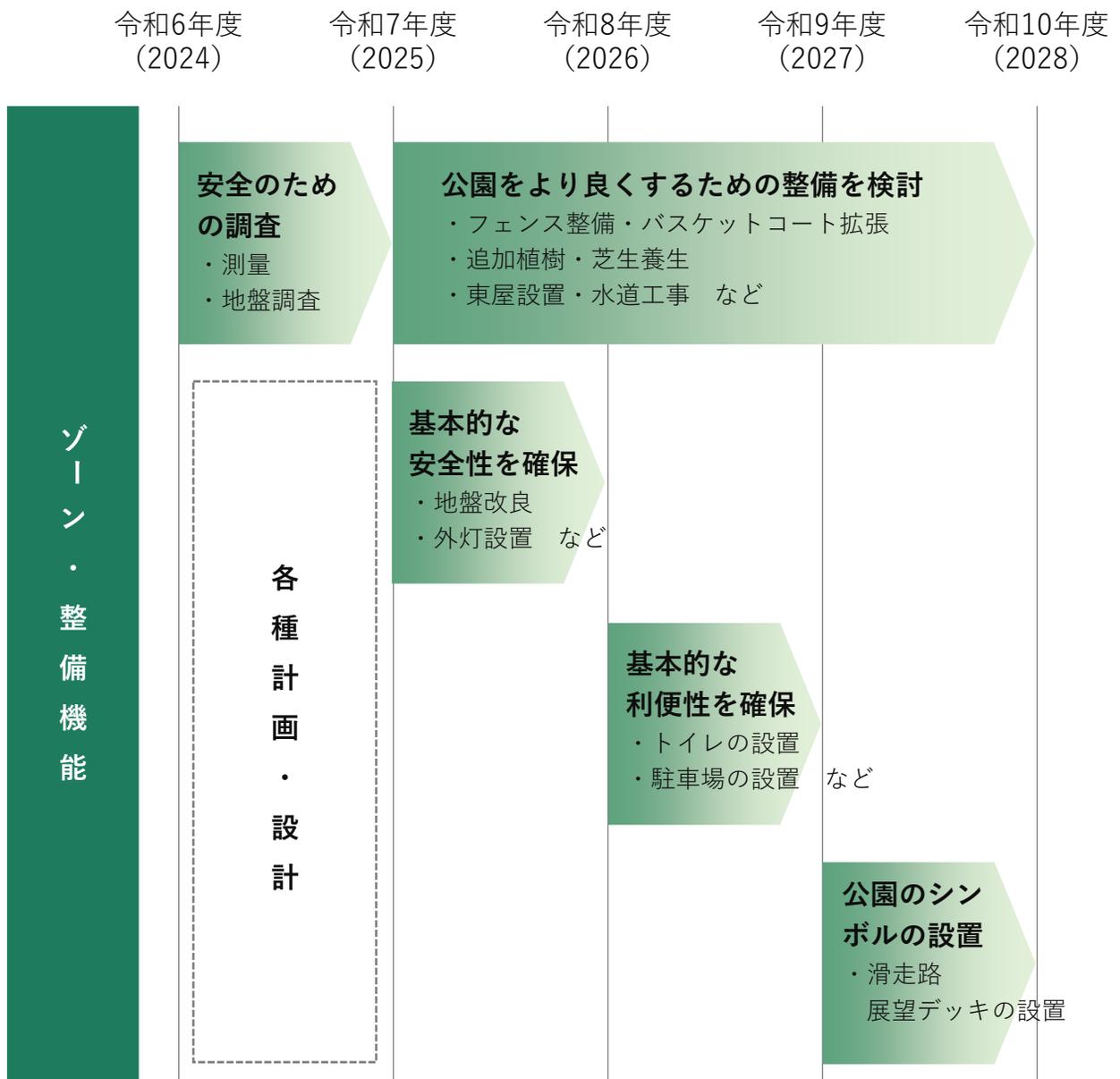
# 第5章 段階整備の考え方

## 1. 段階整備計画概要

公園整備にあたっては、苅田町の予算執行計画に則り実施を行う。したがって、公園整備を一斉に取り掛かるのではなく、段階的に着手していく必要がある。

当公園の公園整備計画としては3か年計画で実行し、各段階で優先して整備すべきものから順次整備していくことで、公園として有すべき機能を保持しながら目指す公園像に近づけていく計画とする。

### ■ 段階整備計画案



## 2. 段階整備イメージ

### ■ 令和6年度（計画期）イメージ



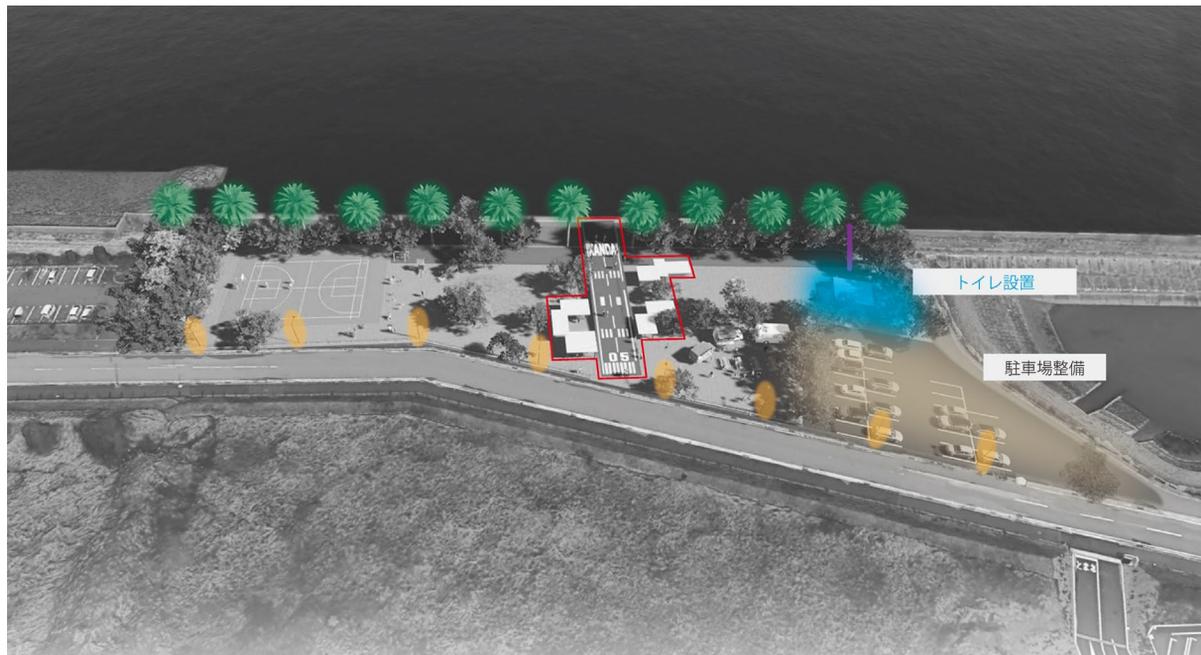
公園敷地内を整備し、植樹を行う。

### ■ 令和7年度整備イメージ



敷地内地盤の補強や公園周辺の外灯の設置を行う。

### ■ 令和8年度整備イメージ



トイレの設置や駐車場の造成を行う。

### ■ 令和9年度整備イメージ



公園のシンボルとなる空港滑走路デッキの造成を行う。

### ■ その他の整備イメージ



フェンス整備やバスケットコートの拡張、追加の植樹、芝生の養生、東屋の設置や水道工事など公園をより豊かにし、利用者に嬉しい機能を検討する。

### ■ 最終的な完成のイメージ



# 第6章 今後の計画スケジュール

## 1. 今後の計画スケジュール

本年実施の基本構想策定後は、令和6年度に基本計画・基本設計・実施設計を進めながら、同時に各種敷地に関する調査や分析等を行い、令和7年度以降で段階的に整備を進めていく予定である。

令和5年度事業  
基本構想

公園の機能、性格、構想の理念、テーマなどを明らかにし、公園のイメージやそれを構成する主要な施設について検討し、公園整備の基本的な方向を決定するもの。



令和6年度事業  
基本計画  
基本設計  
実施設計

敷地の立地条件を分析評価し、計画の基本方針、導入施設内容・規模などを設定するなど、基本的な内容を決定するもの。

基本計画で定めた基本的な内容を、技術及びデザイン、経済性を考慮した指針を設定し、公園の骨格となる施設配置、形状、基盤施設の設計を行うもの。

基本設計で定めた指針や骨格となる施設設置等の概略設計に基づき、安全性や機能性、市場性、施工性、デザイン性などの詳細検討を行い、設計図書を作成するもの。



令和7年度以降事業  
整備工事

実施設計に基づき、整備工事を実施。

## 2. 今後の検討・計画事項

基本計画では、以下の点についてより具体的な検討及び計画を行う。

### 1. 公園機能についての検討・計画

#### ■ 外灯の設置について

当公園を安全に利用していただくために外灯の設置を予定しており、設置する外灯について、設置物の仕様及び設置方法等について検討を行う。

(例)

- ・ LED照明や太陽光照明
- ・ 地中埋設化

#### ■ トイレの設置について

当公園を快適に利用していただくためにトイレの設置を予定しており、設置するトイレについて、設置物の仕様及び設置方法等について検討を行う。

(例)

- ・ バイオマストイレ
- ・ バリアフリーストイレ

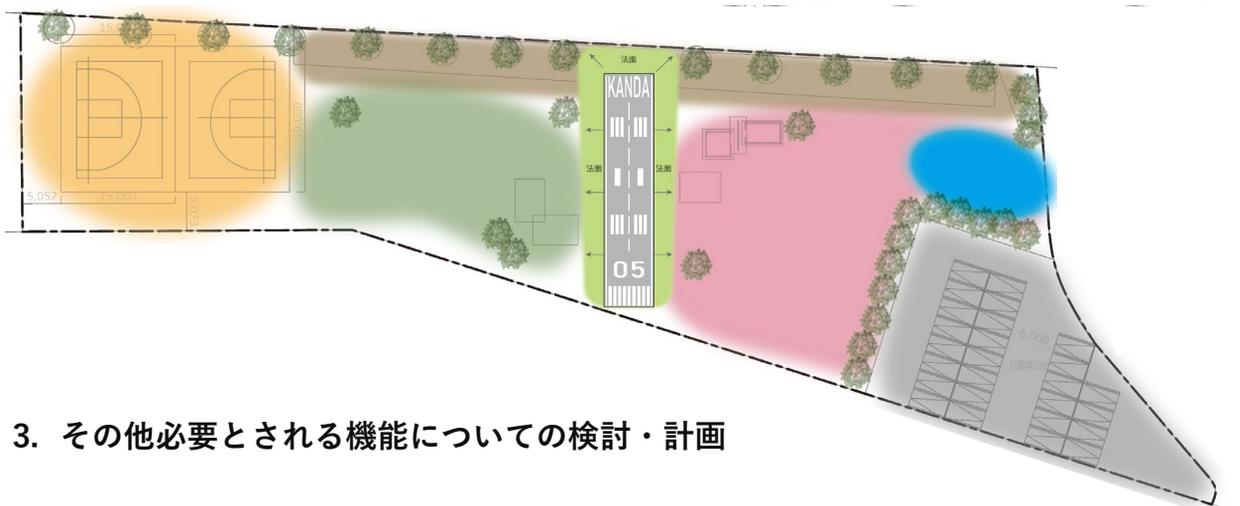
### 2. 観光誘客機能についての検討・計画

#### ■ 滑走路デッキの設置について

当公園に観光目的で誘客できるように設置予定の滑走路デッキの仕様及び設置方法等について検討を行う。

(例)

- ・ 建築物としての設置方法
- ・ 盛り土で造成する設置方法（イメージは下記を参照）



### 3. その他必要とされる機能についての検討・計画